



8月15日(水)
午前7:30~12:00



さんもん せがきえ

山門施餓鬼会

(一家 水向料12,000円)

特に、新盆をお迎えになるご家族の方は
ぜひお参りください。



8月は、先祖供養を行うお盆の季節です。
昔から行われる「お盆」ですが、どんな由来があるのでしょうか。

普段言い馴れている「お盆」には、正式な名前があります。
梵語のウラバナを音写した「盂蘭盆会(うらぼんえ)」です。
これを略して、通常「お盆」と私達は言っています。
この「ウラバナ」という言葉を訳すと、人が逆さまに吊り下
げられた状態の苦しみを意味しているそうです。
逆さまに吊り下げられるなど、想像を絶する苦しみと「お盆」
に、どんなつながりがあるのでしょうか。



「盂蘭盆会経」というお経には、次のように説かれています。

お釈迦様のお弟子であった目連尊者(もくれんそんじゃ)は、
亡き母をひと目見ようと神通力で探したところ、亡き母は生き
ている間に犯した深い罪により、恐ろしい地獄の餓鬼道(がき
どう)に堕ち、逆さまに吊り下げられる苦しみを受けていた。
驚いた目連尊者はお釈迦様にすがり、救いを求めた。



そこでお釈迦様は「あなたの母の犯した罪は深く、あなた一人
ではどうすることもできない。しかし、多くの僧が総懺悔をす
る7月15日に供養すれば、その功德によって母をはじめ餓鬼
道に苦しむ多くの亡者を救うことができるだろう」と伝えた。

このような目連尊者とその亡き母の因縁から、
「お盆」は、飲食供養の功德によって多くの亡者を救う「亡者供養」と「先祖供養」
を合わせて行う供養会となり、現在に至っています。

『孝行を したい自分に親はなし
さればとて 石に布団も着せられず』

わが身を忘れて育ててくれた親の愛情は、この世に残された子に脈々と生き続けます。
墓前でぬかすく子の嘆きと、せめてご冥福を祈り霊を慰める姿が目浮かぶようです。

『ほろほろと 鳴く山鳥の声聞けば
父かとぞ思う 母かとぞ思う』(盆施餓鬼御詠歌)

お盆は、離れて暮らす子供も実家に戻り、ともにご先祖様の霊をお迎えします。
ご先祖様からつながっている命を、今自分が生かしていただいていることに感謝する
お盆はそんな機会なのです。

大智寺だより

平成24年葉月
Vol.30

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com/>

今月の当紙発行には、
山口染色様の
ご支援をいただきました
ありがとうございます

7月号発行部数
300部

ご愛読
ありがとうございます

社会科の先生 大智寺の見学へ

8月22日、岐阜市内の小学校社会科の先生方、約40名が大智寺へ見学にいらつしやいます。今回いらつしやる先生方は、『岐阜市小学校社会科研究会(川部誠会長)』という会を組織されており、実地研究を通して教材の開発に生かし、教員の知識を深める活動を続けておられます。

大勢の先生にお越しいただくことは珍しいですが小学生の子ども達は最近よくお寺にいらつしやいます。特にこの数年、近くの岐阜市少年自然の家で合宿をする子ども達が、ウォークラリーのため大智寺にお越し下さるようになり、小学生のかわいらしい声が境内で飛び交うことも多くなりました。小学生の頃からこうして文化的な建物や史跡を巡り、楽しみながら歴史を感じることは、子どもの財産になるものと大智寺でも積極的に協力させていただいているところです。

今回の小学校の社会科の先生方も、「机上のお勉強のみならず、地域に出て肌で感じる学習を」との思いでお越しになります。未来を担う次世代の子ども達は、地域の宝です。大智寺として今後どのような協力ができるか模索中ですが、充実した見学会になればと願います。



大本山 妙心寺への 新亡団参

7月2日、前日まで雨でお天気が心配されたものの、朝から快晴の気持ち良い団参となりました。今回は、平成23年4月から平成24年3月までの一年間にご家族を亡くされた方々が参加されました。

新亡団参とは、全国各地の妙心寺派のお寺の檀家様が一齐に団体参拝し、昨年度一年間に亡くなられたご家族のご供養を大本山妙心寺にて行う行事です。なかなか大本山を訪ねて京都に出かける機会もない中、管長猥下自らご供養いただけるということで、毎年大勢の方々が参列されます。

ご供養の後には、妙心寺の大広間にて赤いお膳が並べられ、精進料理をみんなで頂きます。昔ながらの精進料理を守る老舗、妙心寺ご用達『阿じろ』のお料理は、「五味・五法・五色」という基本に忠実な、本格的精進料理です。



昼食後は、滋賀県の石山寺を観光しました。石山寺は、西国三十三か所霊場でもあり、素晴らしい



景観を楽しむことができました。この日の翌日から雨という、雨と雨に挟まれた奇跡の快晴のもと、無事皆様と参拝できました。心から感謝します。

お盆の棚経 (たなぎょう)

●8月12日(日)～14日(火)

12日(金) 午後：里4・里3・里2

13日(土) 午前：高富・関

同日 午後：里5・出屋敷

同日 夜：大洞団地

14日(日) 午前：門屋・里1・里3(4戸)

西山西・西山東・里2南

☆例年通り、どうぞよろしくお願ひします



また、7月13日～15日に棚経させていただいた市内中心部の皆様、予定の時刻を前後しましたものの、ご理解いただきありがとうございました。

**大智寺 夏の子ども合宿
托鉢へのご協力をお願いします**

今年も楽しい子どもの合宿をおこないます。
合宿の初日には、托鉢をして地域を回ります。

◎ 托鉢日程
8月21日(火)
朝 9:30 お寺出発



毎年この托鉢を通して、「野菜が
好きになった」「おいしかった」
と感想をいただきます。
今年も、どうぞご協力ください。お願いします。



津島神社に到着
10:30 頃

津島神社で托鉢は終わりとなり、
休憩をしてから、再びお寺へ帰ります。

今年の花言葉

例年に比べ雨が多かったにも関わらず、お墓の前
のハスの花がよく咲いてくれてホッとしています。
ハスは、花が開くとすぐに花びらを落としします。
その花びらの形が、中華料理に使われる「レンゲ」
の由来というのにも妙に納得でき、つい花びらを拾っ
てしげしげと見たりしている今日この頃。



暑くなってくると、心の中を甘い
誘惑の音が駆け巡ります。欲望の
まま、掃除も料理も楽な方へ流れ、
涼しいところで冷たいお茶を飲んで
ゆつくりしたいと、身体が勝手に動
いてしまいます。「これではいけない、いけない」と
再び腕まくりして葛藤することも多々・・・
そんな煩惱だらけの俗世を泥にたとえ、昔の人は
「ハスは泥から出でて泥に染まらず」と清浄な仏様
の智慧や慈悲をハスの花に感じてこられたそうです

そういえば、「どんな結果が出ようと命運を共にす
る」という意味で使われる「蓮托生」という言葉。
これは本来仏教用語で、「死後も一緒に極楽浄土のハ
スの花の上に生まれ変わる」ことを意味しており、
転じて、死後も一緒にいたいほどの、友情や愛情の
表現方法となったそう。

この夏、奥さんが掃除も料理
も頑張っていたら、すかさず
「君と僕は蓮托生だー！」
なんて、旦那さんは言っ
てみて下さいな(笑)
はい(こあるかも！)

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里1号のおばあちゃん 毎朝梅干しのお吸い物

- ① 酒大さじ1、みりん小さじ1、しょう油小さじ
出し汁コップ1杯と半分を、合わせて鍋でぶくぶくさせる。
- ② 梅干しは湯で塩を抜き、箸でつついて、ほぐし鍋に入れる。
- ③ おくらを刻んで鍋に入れる。
- ④ 出来上がったら、お椀に入れて、もみ海苔とゴマを散らす。

昔から「梅はその日の難逃れ」と言って梅干しを食べとったでねえ。
梅干しは、しょっぱいで塩抜きして毎朝お吸い物で頂いたり、
お茶漬けにしたり、ちゃんと食べると調子が狂うであかね。
梅干し食べれば「今日も大丈夫」って安心するで、お勧めやよ。



お授戒（じゅかい）へのお誘い

平成24年10月12（金）・13（土）・14（日）

時間：8時半～16時
場所：美濃市大矢田 道樹寺
授戒冥加金：金 2万円
（1名につき3日間・昼食付）

～ 内容 ～

仏教徒として自分を振り返り、
修行を通して真の仏弟子となる
大変貴重な修行法会です。

京都 妙心寺管長猥下よりご戒名を授与されます。



ご希望の方は、
大智寺までお申込みください。

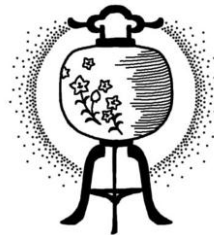
お盆前のお墓掃除 ありがとうございました。

7月29日（日）に
里1号の皆様がお墓の
お掃除をしてください
ました。暑い日では
したが、草刈り機で伸びた
草を刈り、細かな部分
は草を抜き、ほうきで
きれいにしてください
ました。



熱中症が叫ばれる厳し
い暑さの中、本当にあり
がとうございました。

お蔭さまで、気持ちよく
お盆のお墓参りができ
そうです。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

8月26日（日） 一回500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

7月写経会 備忘録

7月の写経会では雨の中5人の方が参加
されました。雨のおかげで比較的涼しい
写経会となり、お盆前に震災で亡くなら
れた方を思い、集中して筆を進めること
ができました。

8月はまだまだ残暑厳しい頃となります
が、引き続きがんばりましょう。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、
永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

でも、最近「跡取りの息子もちゃんといいますが、永代供養墓
を用意してもいいですか？」という30～40代の若い世代の
方が増えてきています。

次男や三男で、実家から分家し、自分のお墓を用意する際、
「たとえ次世代で途絶えてもいいように」と
代々納骨していける永代供養墓を希望されます。
その場合、追加納骨料は必要ありませんので、
永代供養付きの一家のお墓となります。



完全個別永代供養墓
1区画：25万円～
（墓石代金含む）

特色

合祀はしません

◎大智寺でのご供養内容
月命日のご供養
春秋彼岸のご供養

◎追加納骨 可能
夫婦、家族でご利用可
（追加料金 なし）